

第2章 中間評価の目的・方法

1 目 的

「いきいき健康プランにしん21」は、平成20年度に中間評価、平成25年度に最終評価を行い、目標とそれを達成するための具体的な活動の成果を適切に評価して、その後の健康づくり事業に反映することとしています。

今回の中間評価の目的は、計画を策定した平成15年度から平成20年度までの5年間の取り組みの結果を評価し、今後推進していく健康づくり施策に反映させることにあります。

2 方 法

中間評価を行うにあたっては、学識経験者、各種団体関係者、市民公募委員等で構成するいきいき健康プランにしん21推進委員会を合計3回開催しました。また、市民からの公募によるネットワーク研究会、庁内の職員による職員研究会の両方で構成するワーキング研究会を合計6回開催しました。

中間評価については、「いきいき健康プランにしん21」に定められている9分野の指標について中間実績値の分析を行うとともに、各分野で行われている現在の取り組みと今後の施策の在り方等について検討を行いました。

中間実績値の評価を行うにあたっては、9分野において設定している数値目標について、アンケート調査結果や健診結果などの各種データにより中間実績値を把握し、計画策定時の値との比較を行いました。

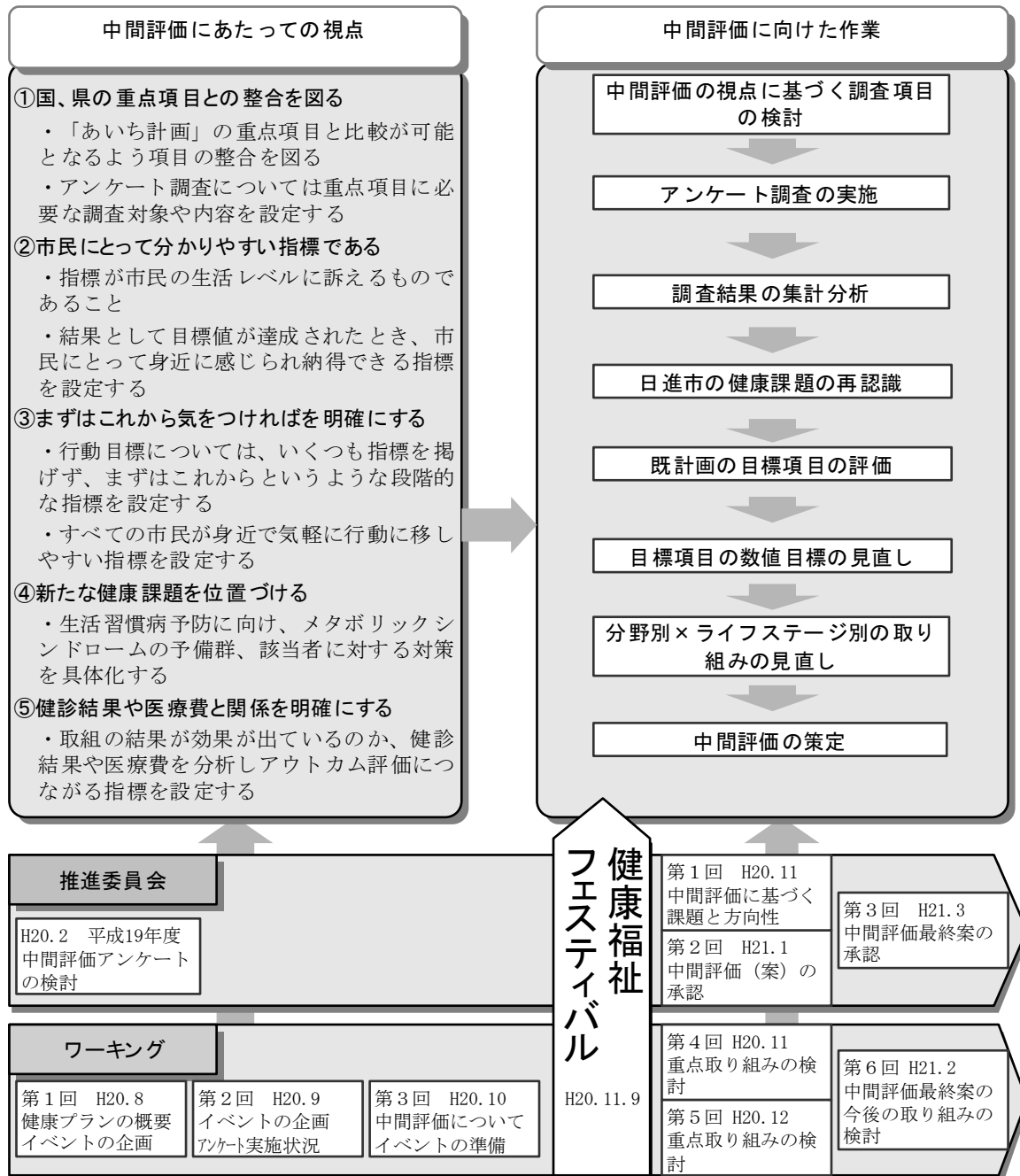
アンケート調査においては、成人、妊婦、乳幼児保護者、就園児保護者、小学生、中学生、高校生などライフステージや分野に応じて市民4,875名を対象とし、平成20年6月から9月にかけて郵送や各種機関を通じて調査票の配布、回収を行い、現在の健康状態や生活習慣、健康に対する意識などについて調査しました。

策定時の目標項目および目標値（指標値）は変更せず、引き続き、平成25年度まで推進していくことを基本としますが、社会状況の変化、また評価に適切でないと考えられる項目等について必要最小限の追加、削除及び変更を行いました。また、9つの分野の中で分野がまたがって掲載していた項目について、主たる分野に整理しています。

その結果、21項目を新たに追加、15項目を削除、11項目の目標値を変更しました。

	配布数	回収数	回収率
成人	2,083	1,358	65.2%
妊婦	200	167	83.5%
乳幼児保護者	300	271	90.3%
就園児保護者	511	397	77.7%
小学3年生	329	268	81.5%
小学6年生	342	320	93.6%
中学生	729	531	72.8%
高校生	381	316	82.9%
計	4,875	3,628	74.4%

中間評価の流れ



3 これまでの推進活動

平成 16 年 3 月の「いきいき健康プランにっしん 2 1」の策定後、本市においては、健康づくりは計画書を策定して終わりというものではなく、市民への周知や普及啓発活動を継続していくことで目標が達成されるという考え方を基本として掲げ、平成 16 年度以降、計画の推進活動を進めてきました。

計画に定められている 9 分野の指標の中から重点的に取り組んでいく項目を重点目標として毎年決定し、推進を行ってきました。また、指標の毎年の現状値を把握するため平成 16 年度から 18 年度においては指標に関する項目について限定したアンケート調査を実施してきました。

	重点目標	主な推進活動
平成 16 年度	—	・アンケート調査の実施 ・いきいき健康体操 ・「健康の道」標識補修 <健康福祉フェスティバル> ・計画推進キャラクターの名称募集 ・みんなでつくろう「健康の木」
平成 17 年度	【栄養・食生活】 ・自分の適正体重を維持することのできる食事を理解している人の増加 【身体活動・運動】 ・日常生活における歩数の増加 【休養・心の健康づくり（健やか親子・母子保健）】 ・子どもに対して、家族の誰かが怒鳴ったり、叩いたりする、無視してしまうことがある割合の減少	・アンケート調査の実施 ・啓発リーフレット・ポスターの作成 ・「健康の道」ウォーキング <健康福祉フェスティバル> ・いきいき健康体操
平成 18 年度	【休養・心の健康づくり（健やか親子・母子保健）】 ・家族はしっかり話を聞いてくれるという子どもの割合の増加 【たばこ】 ・職場で禁煙や分煙を実施している割合 【生活習慣病】 ・1 年以上継続して、週 2 回 1 日 30 分以上の運動をしている人の割合	・アンケート調査の実施 ・啓発リーフレット・ポスターの作成 <健康福祉フェスティバル（にっしん生誕 100 周年記念事業）> ・ヘルピープラ板の作成 ・おこしもの試食 他
平成 19 年度	【健やか親子・母子保健】 ・自分のことが大切に思える子どもの割合の増加 【栄養・食生活（生活習慣病）】 ・肥満者（BMI 25 以上）の減少 【安全】 ・心肺蘇生法を知っている人の割合の増加	・啓発リーフレット・ポスターの作成 ・中間評価アンケート案の検討 <健康福祉フェスティバル> ・愛情の木（メッセージカード作成）他